

二極構造 より明瞭に

五十嵐 仁（法政大学大原社会問題研究所教授）

「ブログ 五十嵐仁の転成仁語」―掲載2013年7月25日（木）
〔以下の談話は、『しんぶん赤旗』2013年7月24日付に掲載されたものです。〕

参院選で共産党が躍進した要因は、第1に、憲法、原発、消費税、TPPなどの重要課題のどれでも明確な対案を提起し、政権批判の「受け皿」になったことです。これまでも潜在的には二極構造でしたが、それが一層、明瞭になりました。第2に、ぶれない姿勢が有権者の信頼

を得たということです。他の野党ができたり消えたり、政策が揺らいだりする中で、共産党の一貫した存在が際立ちました。第3に、インタ〖ネットやSNS（交流サイト）の活用、自民党や農協の元幹部などの談話、清新な候補者の擁立など、選挙の闘い方も斬新なものでした。従来とは異なったアピールの仕方も力を発揮し、これまでにない幅広い有権者に浸透したように思います。

参院選での与党圧勝によって国会内の「ねじれ」は解消しましたが、その国会と民意との「ねじれ」は拡大せざるを得ません。日本政治の闇が深まる中で、「北極星」たる共産党の輝きはますます貴重なものとなるでしょう。